

# 会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

## 入間川（矢嵐）における県の水辺再生プランについて

埼玉県では、入間川の「安らぎと賑わいの創造」と「清流の復活」を目指し、行政と地域住民等が協働し、地域の実情にあわせた水辺空間の整備を進めることとしています。

平成23年度から24年度にかけて、矢久橋から岩沢運動公園付近までの延長約3.5kmの区間について、整備を進めることとなりましたので、その概要をお知らせします。

位置図



工事概要

遊歩道：延長約 3.5km

幅員 2.0m

その他：次頁

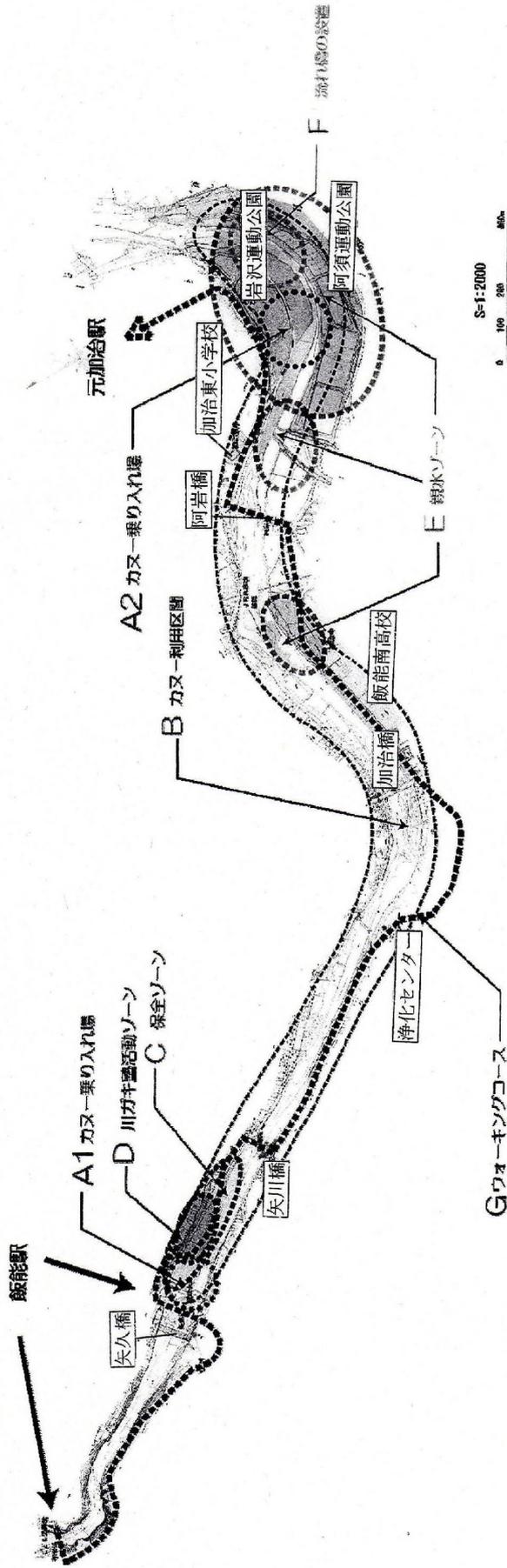
『水辺再生イメージ案』  
のとおり



整備前の様子



# 水辺再生イメージ案



ゾーン名	整備案	備考	ゾーン名	整備案	備考
A1: カヌー乗り入れ場	上流の飯能大橋部にカヌー用アプローチ (搬入、搬出のための車寄せ)		D: 川ガキ塾活動ゾーン	環境学習エリア (ゾーン分け)	清掃等の維持管理は、市、地元等と協働
A2: カヌー乗り入れ場	下流の岩沢運動公園部にカヌー用アプローチ (搬入、搬出のための車寄せ)		E: 親水ゾーン	環境学習や、子どもが水辺で遊べる空間の整備 トイレ等の案内板の設置	※設置条件・管理案 設置→県 管理責任→市 清掃等→地域住民
B: カヌー利用区画	区間内の段差のある所については迂回路を検討		F: 流れ橋の設置	岩沢運動公園と阿須運動公園と行き来できるように流れ橋を設置	清掃等の維持管理は、市、地元等と協働
C: 保全ゾーン	飯能礫層やその周辺の植物等の保全		G: ウォーキングコース	案内板の設置 遊歩道部分は可能な範囲でスロープ等を検討	

# 7月～10月の活動報告

## 《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

今年もたくさんのお米が収穫でき、収穫量は昨年を上回る81kgでした。

■7月24日（日） 電気柵設置、草刈り  
イノシシ対策として、田んぼの周りに電気柵を設置しました。参加者18名。

■8月28日（日） 草刈り、笠懸の準備  
猛暑の中、草刈りや笠懸に使う木の皮むきをしました。参加者21名。

■9月25日（日） 稲刈り  
皆で稲を刈り取り、笠懸に干しました。参加者29名。



■10月16日（日） 脱穀・選別

9月に収穫した稲を、昔ながらの方法で脱穀・選別しました。参加者20名。



足踏み式脱穀機



唐箕（とうみ）

## 《緑のカーテン事業》

市役所連絡通路にニガウリ、ナタマメ、ヘチマ、アサガオを植栽しました。今年は暑さに負けずどんどん成長し、葉が通路を覆って涼しくしてくれました。

また、種子を配布した方から、たくさんの写真とコメントをいただきました。写真とコメントは、11月13日（日）の『はんのう生活祭』で展示させていただく予定です。

※ご記入いただいた氏名、住所、電話番号を公表することはございません。



## 《自然環境部会》

■7月17日(日) 自然観察会  
「オオムラサキを見てみよう」の巻  
夏の昆虫を探しながら散策を楽しみました。

■8月7日(日) 自然観察会  
「名栗川を歩いてみよう」の巻  
増水のため、コースを飯能河原周辺に変更し、名栗川の生物観察を実施しました。  
11名参加。

■9月11日(日) 自然観察会  
「秋の草花観察会」の巻  
初秋の天覧山周辺で、野草の調査を体験しながら散策を楽しみました。15名参加。

## 《地球環境部会》

子ども家庭課「森のようちえん事業」共催

■7月10日(日)「夏の虫探し教室」  
カブトムシ探しや自然観察をしました。

■7月27日(水)、8月24日(水)、  
9月28日(水)、10月26日(水)  
はんのう生活祭で配布するポット苗の準備や園内の整備をしました。



## 《会全体》

■10月29日(土) まちなか清掃活動  
市役所互助会と合同により、飯能駅と東飯能駅周辺でポイ捨てごみを収集しました。  
93名が参加し、20kgのごみが集まりました。

事業所として、(株)ニッソー冷熱製作所、(有)飯能清掃センター、(株)椿本チエインから参加していただきました。



## 《部会合同会議》

■7月28日(木)、8月25日(木)、  
9月22日(木)、10月27日(木)

- 天覧山谷津田再生プロジェクトと周辺整備について
- 入間川水辺再生事業計画について
- 環境基本計画見直しについて
- 放射能情報について
- はんのう生活祭の展示について など

### 編集後記：

10月31日に世界人口が70億人に達したとのことですが、最近の世界人口統計によりますと、1年間に約8000万人、1日当たり22万人の人口増加が続いております。1960年における世界の人口は30億人でしたので、この50年間で2.3倍に増加しました。また、今世紀半ばには90億人を突破するという推計も出ております。

急激な人口増加は、地球規模での食糧危機やエネルギー不足を加速させております。今の日本人の生活水準を全世界の人々が享受するには、地球が3個以上必要といわれており、地球市民として、現状からの方向転換を痛切に感じております。

(広報委員長：伊藤知夫)

はんのう市民環境会議事務局 飯能市環境緑水課  
TEL 042-973-2111 (内線 701) / FAX 042-971-2393  
メール kankyo@city.hanno.saitama.jp